

令和6年度 延岡市立方財小学校 学校評価書

本年度の重点目標

- ① 意欲をもって自ら学ぶ児童の育成
- ② 思いやりの心で他者とかかわる児童の育成
- ③ 体力向上、健康安全に挑戦する児童の育成
- ④ 家庭や地域、関係機関とともに育む連携の推進

4段階評価

- 4 期待以上
- 3 ほぼ期待どおり
- 2 やや期待を下回る
- 1 改善を要する

評価項目	評価指標	自己 評定	自己評価結果の考察・分析	学校運営協議会委員のコメント	評価
意欲をもって自ら学ぶ児童の育成	① 基礎学力の確実な定着 ② アウトプットしながら相互に学び合う学習指導の工夫 ③ 家庭学習や読書活動の充実	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・①については保護者と児童は3以上だったが、職員は2.5～2.8と低かった。複式指導の難しさを日々感じていることもあるため、次年度の職員研修を充実させることで指導力向上と基礎学力の定着を図り、教師自身の満足度も高めていく。 ・②については、保護者、職員共に3以下であった。授業や日々の活動、日記指導等の工夫を通して、自分の考えを分かりやすく話したり書いたりする活動を意識して取り入れていく。 ・学校での読書目標は殆どの児童が達成しているが、保護者の評価が低く、家庭での読書習慣が身に付いていないと考えられる。家庭と連携した取組を行っていく。 	○読書については、借りて満足している可能性もある。目標の設定の工夫が必要ではないか。 ○複式指導は大変だが良い部分もあると思う。しかし、学力向上の面ではせめて1.2年生は単式学級になるとよい。 ○授業を見て、PCスキルや自己肯定感の高さを感じた。	3.0
思いやりの心で他者とかかわる児童の育成	① 的確な児童理解に基づいた積極的な生徒指導の充実 ② 体験活動の推進を通じた豊かな心の醸成 ③ 個に応じた支援と校内支援体制の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のあいさつや、子どもの不安や悩みに寄り添って解決しようとする学校の姿勢については、全体的に評価が高く、日常的な声掛けや称賛、教育相談、地域の方との活動等がに結果に繋がっていると思われる。引き続き、児童に寄り添った指導を心掛けていく。一方、児童同士の言葉遣いが気になるので、全校で取組や指導を工夫していく。 ・自ら活動する自主性が十分に育っていない。今後も様々な教育活動を通じて、児童の思いを生かし、進んで活動できる指導を工夫していく。 ・一人一人を大切に、個を伸ばす教育については、保護者、児童の評価は高かったが、職員の評価が低かった。特別支援教育についての研修を通して、さらに児童理解を深め、少人数や個のよさを生かした支援を考えていく。 	○学校外でのあいさつは少し意識が低くなる子もいる一方、元気がよくて気持ちのよい子もいる。 ○周りの友達や下級生をよく見ていてすぐに手を差し伸べる優しさがあると思う。	3.6
体力向上、健康安全に挑戦する児童の育成	① 体育科・業間活動の充実による体力の向上 ② 感染症予防の実践力の育成 ③ メディアとの望ましいかわり方を実践する態度の育成	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・登校後や昼休みは外で元気に遊ぶ児童の姿が見られ、また、運動会や持久走大会、縄跳び大会等を通じて、児童は意欲的に運動に取り組んでいた。 ・歯科治療率100%を達成したが、家庭での歯磨きの評価が低かった。 ・ゲーム機、PC、携帯電話の使用について、家庭での約束がなかったり守れていなかったりする現状があり、保護者と職員の評価が低かった。学校でも、遅くまで起きていて、ねむいという児童の声も聞かれる。 ・歯磨き及びゲームやSNSとの付き合い方等について、家庭や関係機関等と連携したり家庭教育学級や懇談等でも取り上げたりして指導していく。 	○ゲーム機やSNSの時間が心配。悪い誘い等の危険性も教えていただきたいし学ぶ機会が必要。 ○視力の低下が気になる。遠くの景色を眺める等の目を休める活動を取り入れてはどうか。	3.0
家庭や地域、関係機関とともに育む連携の推進	① CSにおける目標の共有と実践の協働に向けた組織作り ② 保護者や地域への定期的な情報発信	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、4～6年生のクラブ活動で、地域の方を講師に招いてプールでサーフィン体験を行った。また、PTAバザーでは、地域の方の商品予約も受け付けるようにしたり仕入れ数を増やしたりしたことで、たくさんの来客があり盛況だった。CSの在り方について、さらに協議を深めるとともに、地域人材の発掘と名簿作りを進める。 ・定期的に学校・学級便りを発行するとともに、ホームページの更新も積極的に行い、保護者や地域に情報を発信できた。 	○地域との関わりが他の地区と比べて密であると感じる。 ○地元の「得意屋さん」を登録して地域の人の活躍の場を作してほしい。	3.8

【学校運営協議会委員による総評】本年度の取組について、次年度への改善に向けて

○子ども達の評価はどれも3.0以上と高めであることから、子ども達は自らの成長を実感していることと、学校が大好きなんだと感じ取ることができた。
 ○学校と地域の目標の共有や活動の充実を図るために熟議を行う。学校運営協議会委員に区長や公民館長等を選任し、連携を深める。○重点目標の見直し